

■ 懇談会での主な意見交換内容

今ある地域資源を「有効活用」するためのアイデア、思いつき

白河、会津、二本松の三エリアの広域連携。
丸太材の利用した切株型の案内板づくり。
マップとリンクした案内板、地域資源、町名の由来などを説明する案内板づくり。
テレビドラマ「坂の上の雲」にちなんでPR(正岡子規の句碑、秋山好古が見に来た馬市)、
松平定信公にちなんだ商品づくり。

観光客を満足させる「おもてなし」のアイデア、思いつき

白河の名水を提供する。
松平定信公が生産を奨励し、市の花でもある「梅」にまつわる酒、食べ物、お菓子づくり。
「梅のまち白河」を演出。
各店舗で、縁台の設置・茶の接待・道案内。自分の店の「白河の歴史」を紹介する。
おもてなしを表現する(「手づくりのもの」「おしゃれなもの」「職人の技を感じるもの」)

他の地域からまちなかへ観光客を呼び込むために実践したい考え、アイデア

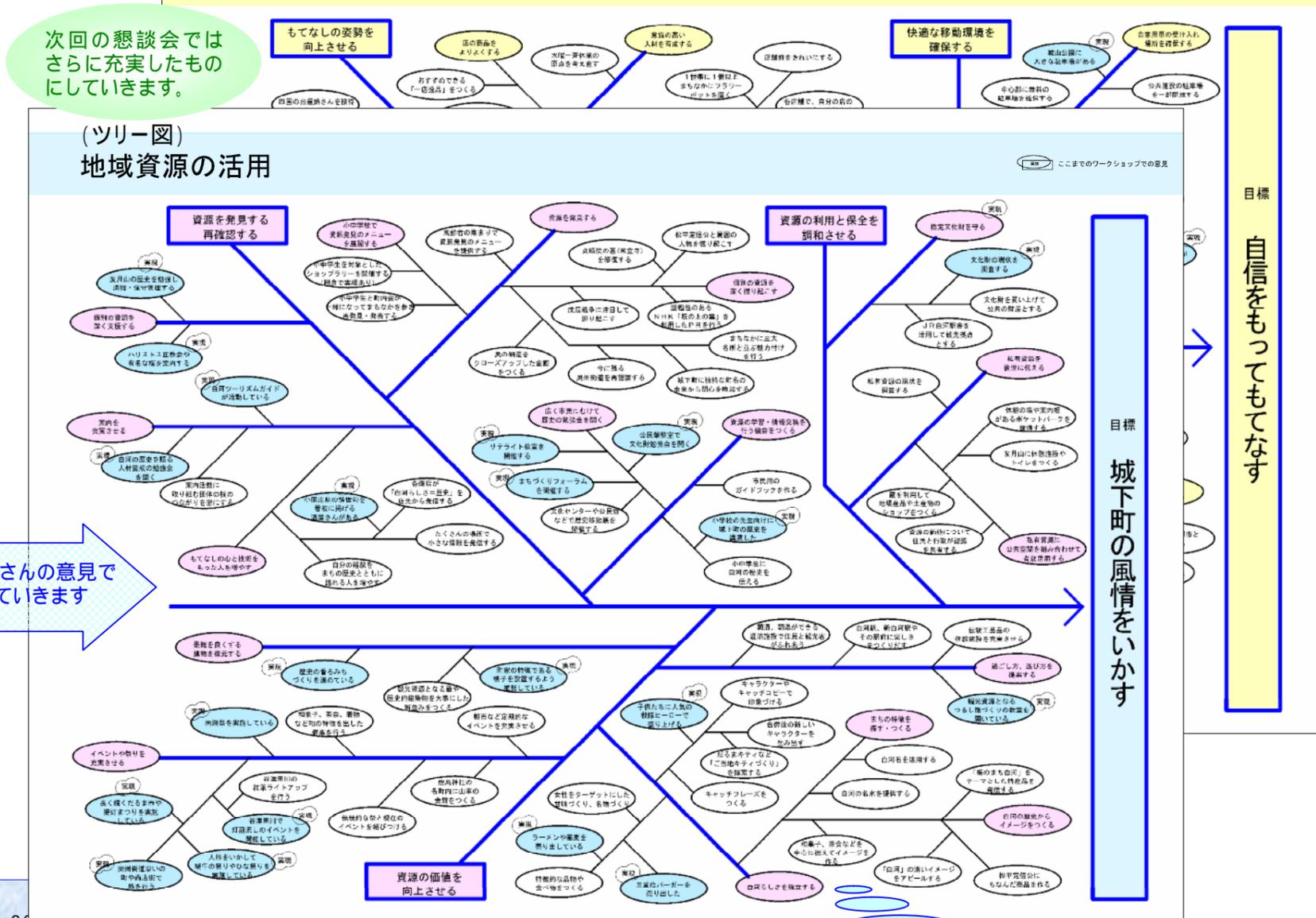
観光看板、サインを立てる(甲子トンネルの出入口、市内用など)。
会津、二本松などの観光事業との連携、交流、周遊企画ツアー。
他地域とのイベントの連携、充実、PR。
一店逸品。各店舗の奮起。
定期的なイベントの充実(朝市、コンサートなど)。
団体客に対応できる食堂。滞在時間を長くさせたい。

他の地域からまちなかへ観光客を呼び込むために実践したい考え、アイデア

ポイント=アンケートで1位から5位まで挙げてもらった回答をポイント化したもの
(回答項目) (ポイント)



(ツリー図) 来訪者満足度の向上



次回の懇談会ではさらに充実したものにしていきたいと思います。

みなさんの意見で作っていきます

本年度の懇談会では、今後のまちづくりに向けた取り組み方をまとめます。

まちなか資源ブック(仮称)づくり

作り方の基本的なルールを決めました。

跡地などの現地に残っていない場所は紹介しない。
掲載件数は20件とする(サンプルB)。
歴史年表に合わせて紹介する。
郊外のみどころは、裏面の全体マップで紹介する。
(小峰城、南湖公園、白河の関など)

サンプルB
掲載数: 20件
表紙のイメージ

【表紙】
まちなか資源ブック(仮称)

目標 自信をもつてもてなし

目標 城下町の風情をいかす